

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	1 3 2	受 理 年 月 日	令 和 3 年 2 月 1 8 日
件 名	保育所保育料の値上げの反対		
要 旨	<p>京都市持続可能な行財政審議会において、国基準を上回って維持してきた施策等の持続可能性の確保との考え方で、保育所保育料の値上げ等が検討課題とされている。そして、2021年度京都市予算案において、保育所保育料の値上げが提案されるのではないかと危惧している。</p> <p>京都市保育所保育料の最高額（0～2歳，11時間保育，22階層）は現在，月額94,100円で国基準の104,000円より低く，確かに国基準を上回っている。そのことを理由に保育所保育料の値上げが検討されようとしているが，許容できるものではない。そもそも，国基準が高すぎるのであり，その高すぎる基準を京都市において軽減するのは保育所利用者への配慮であり，理にかなった対策と言える。また，軽減したと言っても，月額94,100円というのは年額1,129,200円となり，私立大学の年間納付金に匹敵する。このような高額な保育料は更なる軽減措置こそが求められているにもかかわらず，2021年度予算案では値上げが提案されるのではないかとされており，保護者の願いに逆行している。</p> <p>近年の京都市においては，乳幼児を抱える世帯は減少傾向となっている。この高額な保育料もその一因ではないかと思われる。京都市の隣接自治体の月額最高保育料について見ると，宇治市で70,300円，大津市で76,300円となっており，京都市より2万円程度低くなっている。市長が提唱される子育て環境日本一とは大きく懸け離れている。</p> <p>については，京都市の保育所保育料を値上げしないよう願う。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		

